

# 燃料電池車の出力2倍

## 京大が電極 ガソリン車並み加速

京都大学の北川宏教授と小林浩和特定准教授らは、燃料電池車の発電装置に組み込むとガソリン車並みに加速が良くなる電極を開発した。ナノ（ナ）は10億分の1）メートルの金属触媒を埋め込

み、電池の出力が2倍に上がる。これまで課題だった加速の悪さを克服でき、厚さ数ナノメートルの有機化合物で覆った。有機化合物の働きで燃料の水素がパラジウムの近くにとどまる。パラジウムの微粒子をむき出し

は、燃料電池車の発電装置に組み込むとガソリン車並みに加速が良くなる電極を開発した。ナノ（ナ）は10億分の1）メートルの金属触媒を埋め込

み、電池の出力が2倍に上がる。これまで課題だった加速の悪さを克服でき、厚さ数ナノメートルの有機化合物で覆った。有機化合物の働きで燃料の水素がパラジウムの近くにとどまる。パラジウムの微粒子をむき出し

で使う従来の電極に比べ、水素イオンを作る反応がより起きやすく、燃料電池の出力が上がるとい

う。燃料電池車は排ガスが新電極は作製が簡単

で、従来の電極と同等のコストで作れる見込み。今後は実際に燃料電池を作って性能や耐久性を試す。